

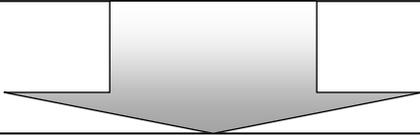
目次

はじめに	1
現状分析	2
課題抽出	
1 虐待要因の分析	4
2 現行施策との突合	5
3 社会的孤立と世代間の虐待連鎖 ～重篤例から読み解く～	6
結論	8
目標設定	8
政策案	
プラン1 親になる前の男女に再教育するプログラム（従来型＋拡充） スマートフォンなど携帯端末を活用したアプリ 「ママ・パパ e-ラーニング」	9
プラン2 義務教育期間中の子どもたちへの教育プログラム（新型） 子どもが自ら考え自ら学ぶ異学年交流 「ペアーズ」	11
おわりに	13

子どもの虐待予防教育プログラムの提案 ～10年後、虐待死ゼロの社会に～

【背景】

減らない虐待【虐待する親・被虐待児】
平成22年度相談対応件数 55,152件（前年比125%）



【現在の対策】

児童虐待対策【未然防止・早期発見・早期対応】【介入と連携の強化】
児童相談所・医師会・民生児童委員・警察署・子育て支援センター・保健センター・幼稚園・保育所・小学校・中学校・自治会・PTA・児童養護施設など

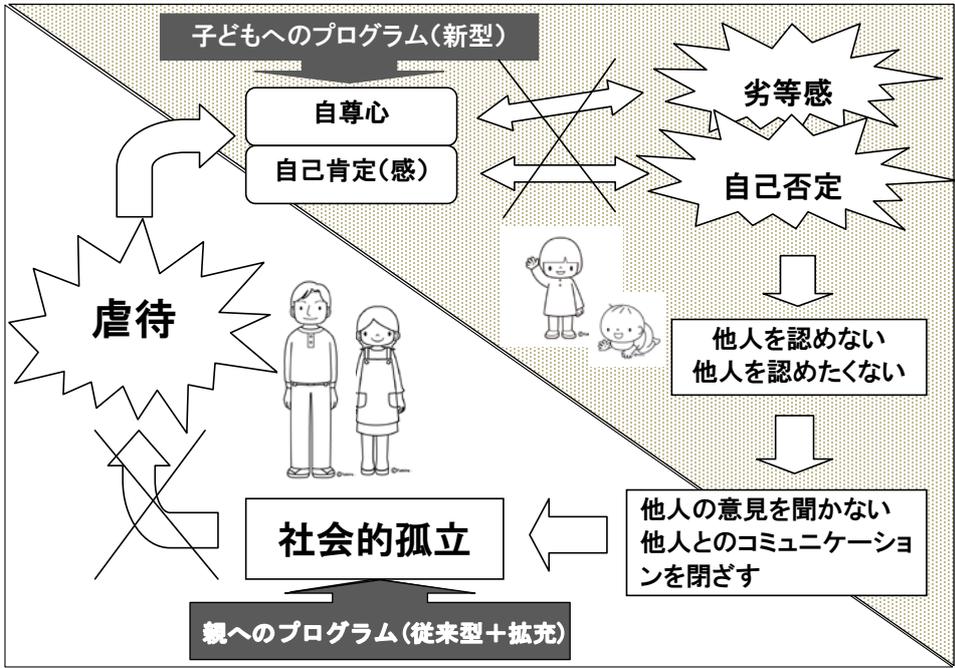


【実態】

虐待死（1週間に1人の子どもが命を落とす）

【現制度の課題】

母親の妊娠からしかアプローチしていない
早期発見・早期対応にばかり重点化している
世代間の虐待連鎖への具体的な予防策がない



【政策提言】

- プラン1 親になる前の男女に再教育するプログラム（従来型+拡充）
- +
- プラン2 義務教育期間中の子どもたちへの教育プログラム（新型）